

2016年3月期 決算説明会

2016年5月17日

ecreo 株式会社クレオ

目次

Index

I. 決算概要

2016年3月期 連結決算概要	P. 3
2016年3月期 前期業績との比較	P. 4
2016年3月期 セグメント別売上・営業利益比率	P. 5
2016年3月期 売上の概要	P. 6
2016年3月期 営業利益の概要	P. 7
2016年3月期 連結損益計算書の概要	P. 8
2016年3月期 連結貸借対照表の概要①	P. 9
2016年3月期 連結貸借対照表の概要②	P. 10
2016年3月期 連結キャッシュフロー計算書の概要	P. 11
2016年3月期 配当金	P. 12
2017年3月期 通期計画	P. 13

II. 事業の概況

セグメント毎の概況 クレオマーケティング事業	P. 15
セグメント毎の概況 クレオソリューション事業	P. 17
セグメント毎の概況 クレオネットワークス事業	P. 19
セグメント毎の概況 クリエイトラボ事業	P. 21

第2部 2017年3月期 事業運営方針	P. 23
---------------------	-------

決算概要

Financial Results

2016年3月期 連結業績概要

(単位: 百万円)	前期 (2015/3期) 実績	当期 (2016/3期) 実績	売上比	増減率 対前年同期比	当期 (2016/3期) 計画値	増減率 対計画値比
売上高	11,425	10,305	—	▲9.8 %	10,000	3.1%
営業利益	357	348	3.4%	▲2.6 %	—	—
経常利益	380	368	3.6%	▲3.3 %	300	22.9%
当期純利益	213	413	4.0%	93.8 %	350	18.2%

■ 売上高

筆まめ事業の株式売却による減少

■ 営業利益

筆まめ事業株式売却による減少があったものの主にクレオマーケティング事業、クレオネットワークス事業の業績改善などにより減少幅を縮小

■ 経常利益

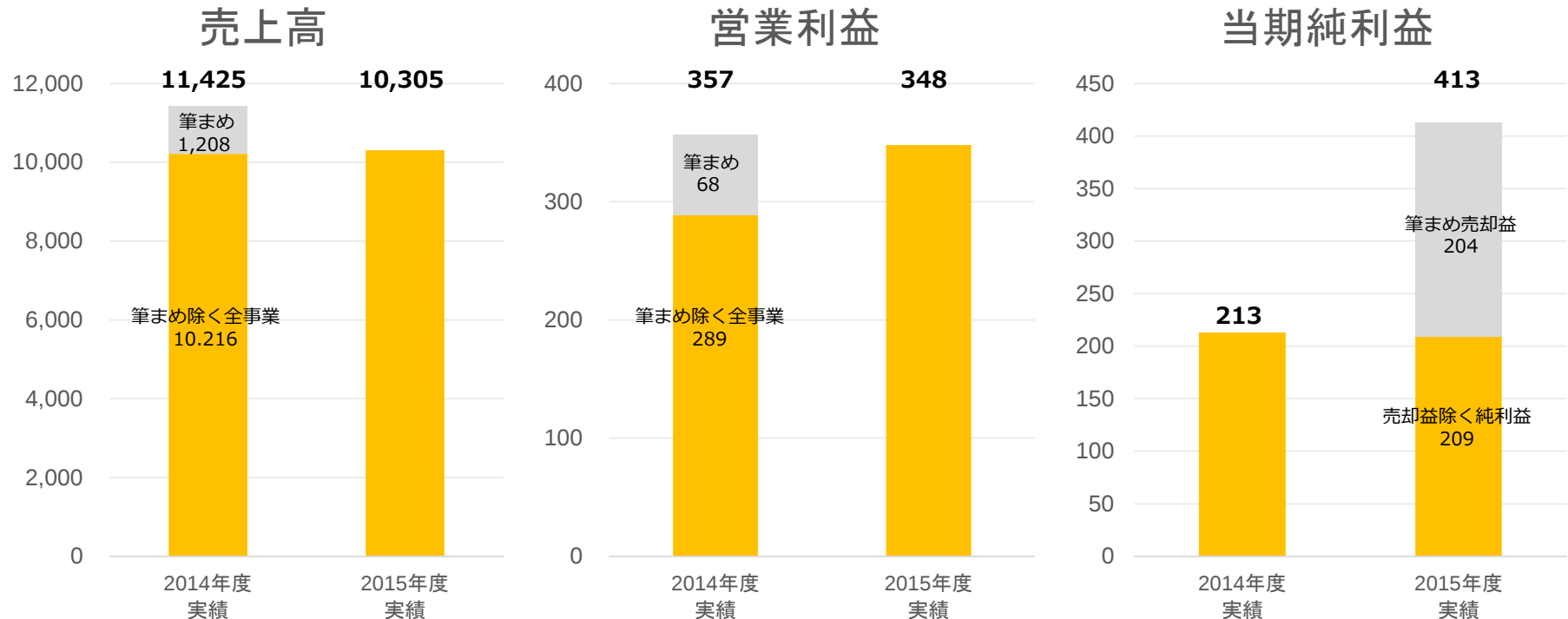
営業利益減少に伴う減少

■ 当期純利益

筆まめ株式売却による特別利益の発生

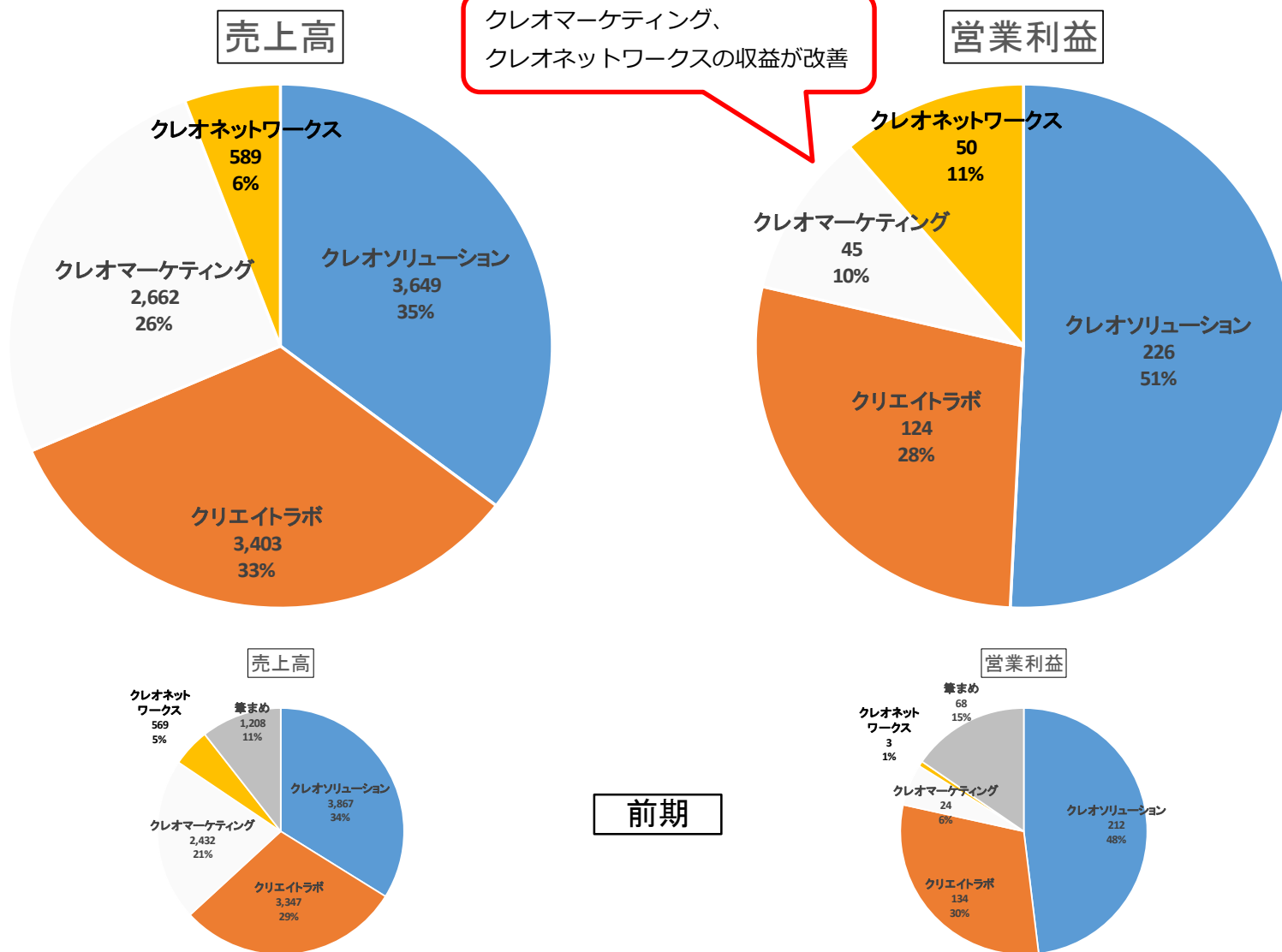
2016年3月期 前期業績との比較

単位: 百万円



筆まめを除く各事業の増収増益があったものの
筆まめ事業売却による減少分を補えず
売上高・営業利益は減収減益

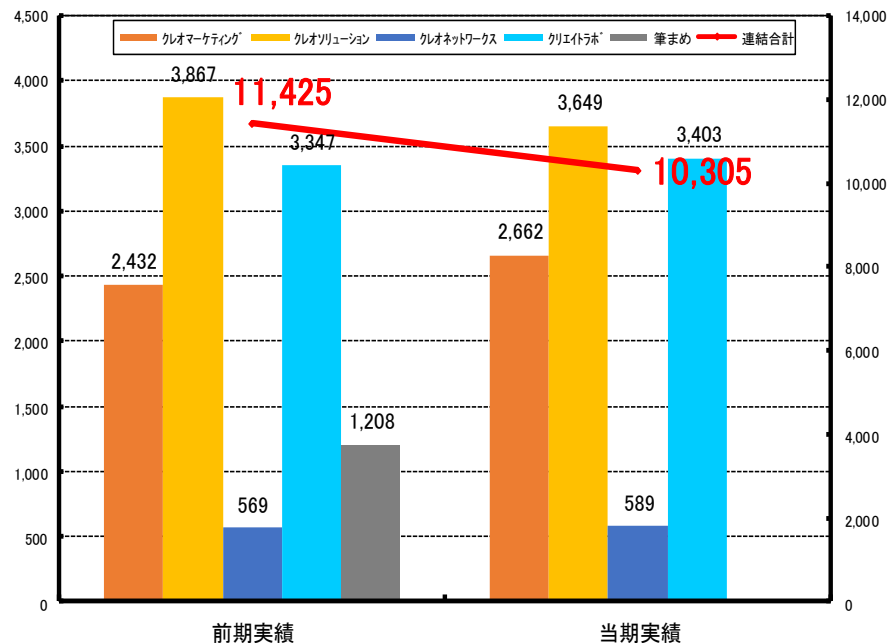
2016年3月期 セグメント別売上高・営業利益比率



2016年3月期 売上の概要

売上高:セグメント別

(単位:百万円)



四半期別売上高

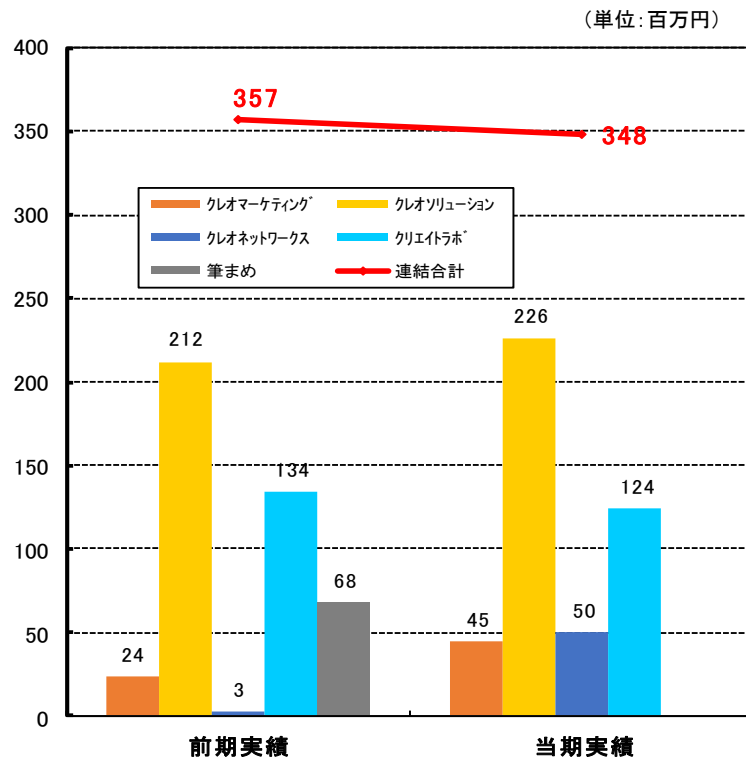
(単位:百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q
前々期	2,164	3,162	2,730	3,329
前期	2,376	3,048	2,720	3,278
当期	2,158	2,581	2,298	3,267

	前期 (2015/3期) 実績	当期 (2016/3期) 実績	増減額	増減率
クレオ マーケティング	2,432	2,662	230	9.5%
クレオ ソリューション	3,867	3,649	▲217	▲5.6%
クレオ ネットワークス	569	589	19	3.5%
クリエイティブ ラボ	3,347	3,403	56	1.7%
筆まめ	1,208	—	▲1,208	—
連結合計	11,425	10,305	▲1,119	▲9.8%

2016年3月期 営業利益の概要

営業利益:セグメント別



	前期 (2015/3期) 実績	当期 (2016/3期) 実績	営業 利益率	増減額	増減率
クレオ マーケティング	24	45	1.7%	20	85.3%
クレオ ソリューション	212	226	6.2%	13	6.3%
クレオ ネットワークス	3	50	8.5%	46	1277.0%
クリエイラボ	134	124	3.7%	▲10	▲7.8%
筆まめ	68	—	—	▲68	—
連結合計	357	348	3.4%	▲9	▲2.6%

四半期別営業利益

(単位:百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q
前々期	▲167	322	70	34
前期	▲120	212	25	240
当期	▲38	126	10	250

※連結合計は上記表記以外にセグメント間取引の消去や
全社費用(セグメント間取引消去)を加味した合計値と
なっております。

2016年3月期 連結損益計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	当期 (2016/3期)		前期 (2015/3期)
	金額	増 減	金額
売上高	10,305	▲1,119	11,425
売上原価	8,267	▲525	8,792
販売費及び一般管理費	1,690	▲584	2,275
営業利益	348	▲9	357
営業外損益	20	▲3	23
経常利益	368	▲12	380
特別利益	205	118	86
特別損失	31	▲126	157
税引前当期利益	542	232	310
法人税等	125	32	93
少数株主利益(控除)	3	0	3
当期利益	413	200	213

増減ポイント

＜売上高＞

＜営業損益＞

＜経常損益＞

・「決算の概要」の通り

＜特別利益＞

・筆まめ株式売却益の計上

2016年3月期 連結貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2016/3末		2015/3末
	金額	増減	金額
資産合計	7,091	▲68	7,159
流動資産	6,155	37	6,118
現金・預金	3,599	45	3,553
受取手形及び売掛金	2,176	26	2,149
棚卸資産	187	▲42	229
その他	193	6	186
固定資産	935	▲105	1,041
有形固定資産	186	▲15	202
無形固定資産	435	▲53	488
のれん	26	26	0
その他	408	▲80	488
投資等	313	▲37	350

増減ポイント

<流動資産>

■現金及び預金

・ 売掛金の回収による増加

<固定資産>

■無形固定資産

・ 製品マスターの償却による減少

2016年3月期 連結貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	2016/3末		2015/3末
	金額	増 減	金額
負債合計	1,925	▲434	2,360
流動負債	1,784	▲453	2,237
買掛金	462	28	433
その他	1,322	▲481	1,804
固定負債	141	18	122
純資産合計	5,165	366	4,799
資本金	3,149	0	3,149
資本剰余金	743	0	743
利益剰余金	1,384	370	1,013
自己株式	▲180	▲1	▲178
株式等評価差額金	21	▲10	32
少数株主持分	47	8	39
負債純資産合計	7,091	▲68	7,159

増減ポイント

<流動負債>

■未払消費税等

・確定納付による減少

■未払金

・筆まめ連結除外による減少

<純資産>

■利益剰余金

・純利益の増加

2016年3月期 連結キャッシュフロー計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	当期 (2016/3期)		前期 (2015/3期)
	金額	増減	金額
営業活動CF	499	▲272	772
税金等調整前当期純利益	542	232	310
減価償却費	242	▲236	478
売上債権の増減額(増加:▲)	▲37	69	▲107
棚卸資産の増減額(増加:▲)	25	58	▲33
仕入債務の増減額(減少:▲)	65	104	▲38
その他	▲348	▲501	162
投資活動CF	▲341	▲19	▲322
有形固定資産の取得	▲14	35	▲58
無形固定資産の取得	▲303	42	▲346
その他	▲23	▲106	82
財務活動CF	▲112	▲67	▲44
配当金等の支払	▲43	0	▲42
その他	▲67	▲67	▲1
現金及び現金同等物の期首残高	3,553	405	3,148
現金及び現金同等物の期末残高	3,599	45	3,553
現金及び現金同等物の増減額	45	▲359	405

増減ポイント

<営業活動 CF>

- ・純利益の増加
- ・筆まめ連結除外による
売掛金減少
- ・税率変更による
未払消費税増加

<投資活動 CF>

- ・製品開発投資による
支出
- ・イアス株式会社への貸付
- ・株式会社アダムスコミュニケーション買収

<財務活動 CF>

- ・短期/長期借入金の返済
による支出

2016年3月期 配当金

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
年間配当金	5円	5円	15円
配当金総額	43百万円	43百万円	129百万円
配当性向(連結)	98.7%	20.3%	31.4%
当期純利益(連結)	44百万円	213百万円	413百万円

■ 2016年3月期

普通配当 5 円 + 特別配当 10 円 = 年間配当 15 円

※ 当社定款の定めにより、2016年5月13日開催の取締役会において上記配当実施を決議済

2017年3月期 通期計画

	第2四半期累計		通期			
(単位:百万円)	2016/3期 実績	2017/3期 計画値	2016/3期 実績	2017/3期 計画値	売上比	計画値増減率 前年実績比
売 上	4,739	5,000	10,305	11,500	—	11.6%
営業利益	87	20	346	370	3.2%	6.9%
経常利益	103	30	368	380	3.3%	3.1%
純利益	251	10	413	260	2.3%	▲37.1%

2017年3月期 通期計画値について

- 上期営業利益：前年度クレオマーケティングの大規模導入開発案件受注の反動減
- 通期純利益：前年度筆まめ事業売却益の反動減

各事業の概況

Enterprise General Condition

セグメント毎の概況

クレオマーケティング事業

中心会社

株式会社クレオマーケティング

事業概要

- ZeeM 事業
法人向け基幹系ソリューション ZeeM(ジーム)を提供。
会計・人事給与などの製品を幅広くラインナップ。
20 年以上に渡り、累計 2,000 社を超える導入実績。
- システム開発事業
法人向け業務システムや組み込み系ソフトウェア開発

ZeeM 人事給与

ZeeM 会計

ZeeM

簡単マイナンバー収集システム

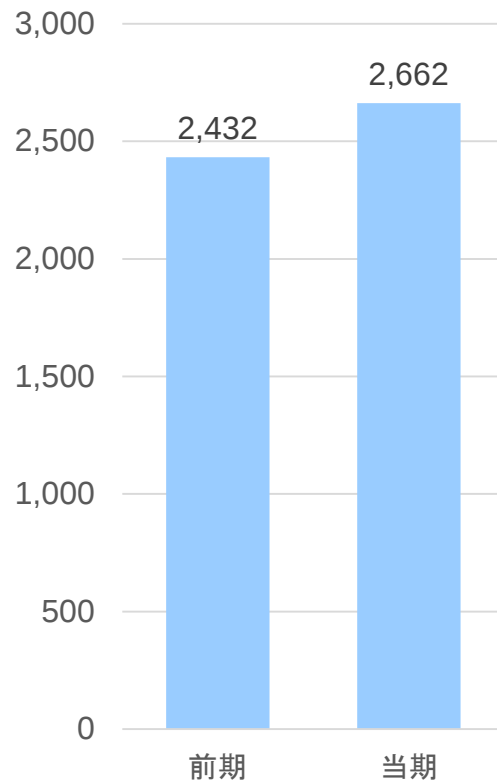
セグメント毎の概況

クレオマーケティング事業

事業概況

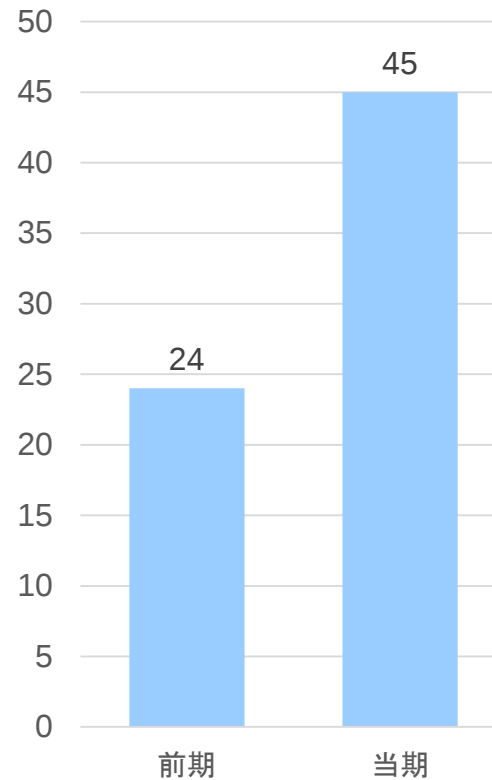
単位: 百万円

売上高



単位: 百万円

営業利益



【売上】

- ZeeM 製品の販売がマイナンバー制度導入に伴う需要増、およびアマノ社による販売増により堅調に推移
- システム開発事業ではアマノ社向け等の売上が増加

【利益】

- 売上増に伴う利益増
- 過年度から継続している不採算プロジェクトの影響を解消

【今後の事業展開】

- ZeeM の電子帳簿保存法と電子申請(eLTAX、e-Gov)対応強化

セグメント毎の概況

クレオソリューション事業

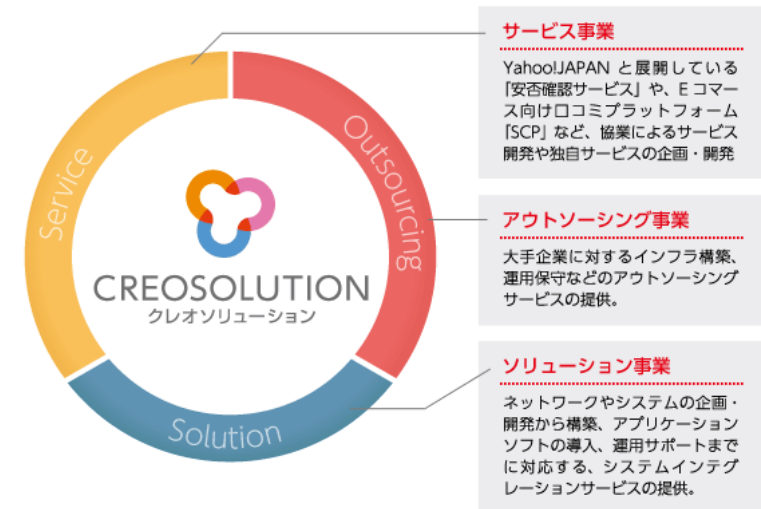


中心会社

株式会社クレオソリューション 株式会社クレオサンライズ

事業概要

- 受託開発・基幹システム支援
官公庁等公共分野での個別業務システム開発と、その実績をベースにした民間企業向け各種システム開発
- Web サイト開発・構築
EC サイト、コーポレートサイトなどのデザイン制作から開発・構築まで
- ポータルサービス 開発・テスト・運用支援
大規模ポータルサイトなどの安定稼働を実現する運用支援・監視業務など



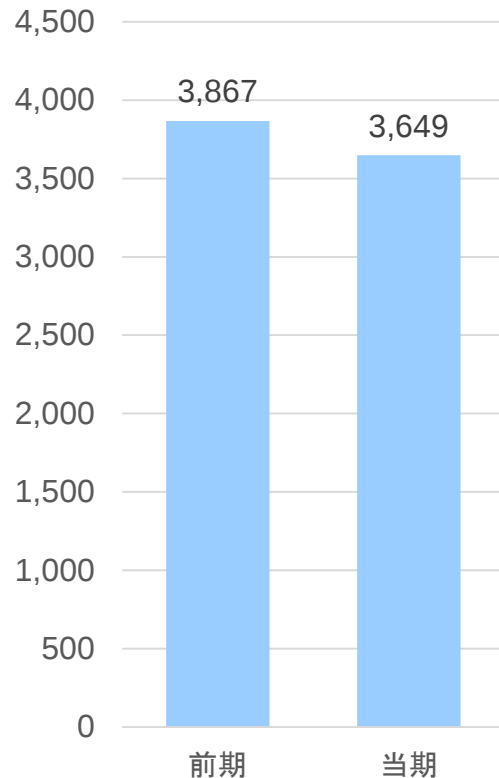
セグメント毎の概況

クレオソリューション事業

事業概況

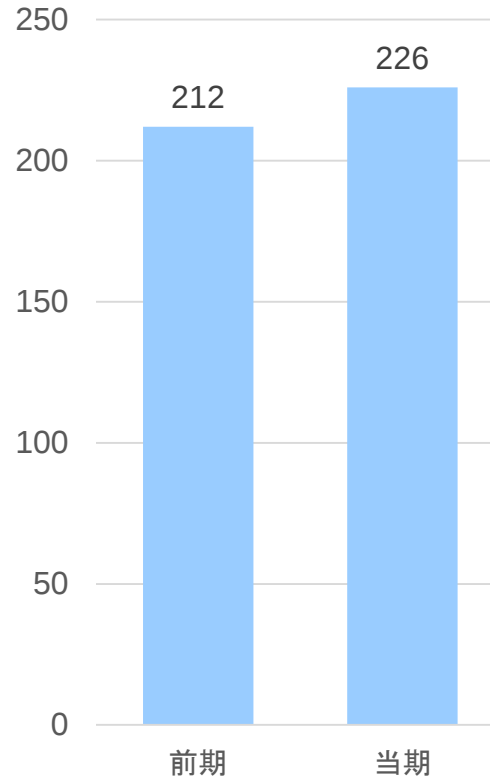
単位: 百万円

売上高



単位: 百万円

営業利益



【売上】

- アウトソーシング事業を中心に既存顧客からの受注減により売上高は2億17百万円減少

【利益】

- プロジェクト管理を徹底し不採算プロジェクトの発生防止、人員配置の最適化等を実施したことにより、営業利益は前年同期比で13百万円増加

【今後の事業展開】

- アウトソーシング事業は株式会社ココトとして2016年4月に分社
- 2016年4月に子会社化したイアス株式会社とのシナジー醸成を急ぐ
- 人財の確保を確実に進め、機会損失を防ぐ

セグメント毎の概況

クレオネットワークス事業



中心会社

株式会社クレオネットワークス

事業概要

- IT サービス管理ソリューション「SmartStage」
IT サービス管理ツールに加え、IT 基盤の構築運用サービス、クラウド基盤サービス(IaaS)を統合的に提供
- 業務プロセス管理プラットフォーム「BIZ PLATFORM」
各種業務プロセスの管理プラットフォームを SaaS/オンプレミスで提供

株式会社西武ホールディングス様、キヤノン株式会社様をはじめ、
大手企業の情報システム部門が導入。

ITサービス管理ソリューション



SmartStage
ServiceDesk

SmartStage ServiceDesk
ITサービス管理ツール

SmartStage
IT Outsourcing

SmartStage IT Outsourcing
アウトソーシングサービス

SmartStage
N-CLOUD

SmartStage N-CLOUD
クラウド基盤サービス

業務プロセス管理システム



購買プロセス管理

調達プロセス管理

出稿・校正プロセス管理

商談プロセス管理

稟議申請プロセス管理

貸出申請プロセス管理

承認ワークフロープロセス管理

見積プロセス管理

人事目標管理

会員管理

など

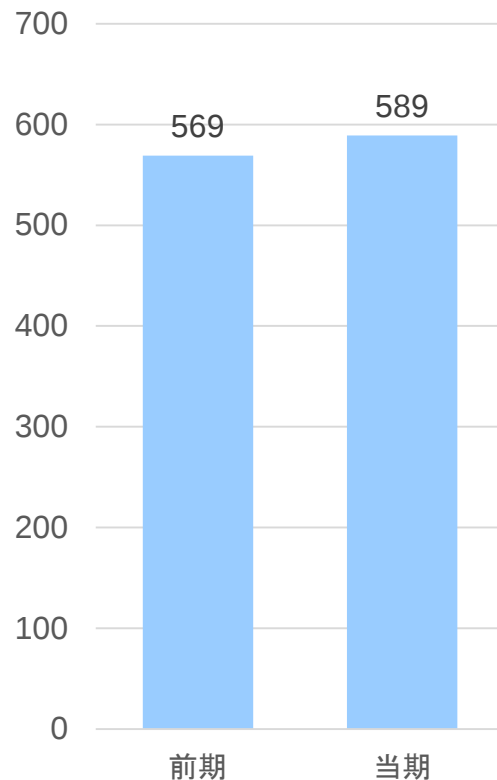
セグメント毎の概況

クレオネットワークス事業

事業概況

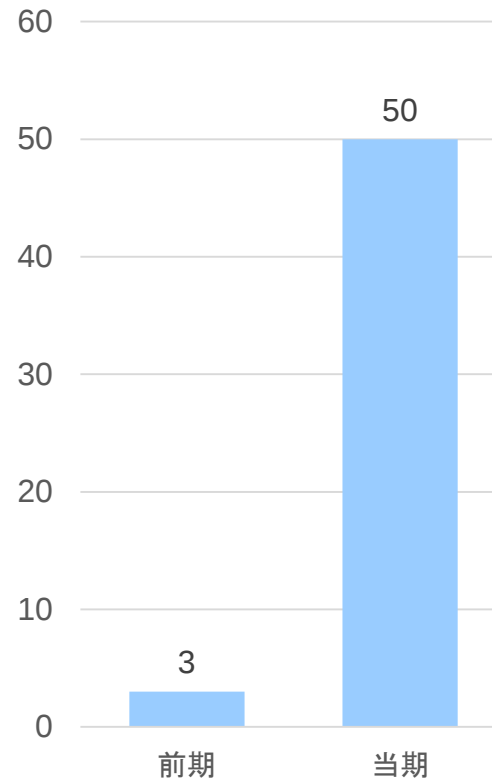
単位:百万円

売上高



単位:百万円

営業利益



【売上】

- 前期にメディア事業を譲渡したことによる減少があったもののSmartStage事業の展開に注力したことにより、前年同期比で19百万円増加

【利益】

- メディア事業譲渡による減少があったものの、SmartStageの売上増に伴う利益増に加え、開発投資を適正な水準としたことによる原価削減効果等により、前年同期比で46百万円増加

【今後の事業展開】

- SmartStage事業の広告宣伝を強化し、知名度向上を図り、新規顧客開拓に注力

セグメント毎の概況

クリエイトラボ事業



中心会社

株式会社クリエイトラボ 株式会社セールスゲイト 株式会社アイティアイ
株式会社アダムスコミュニケーション

事業概要

大手メーカー、大手プロバイダー、大手ソフトウェアハウスのテクニカルサポートやシステムの保守・運用、IT機器・サービスのご購入に関するご相談や製品の販売とIT人財の派遣サービスを提供

- サポートサービス
ヘルプデスク、テクニカルサポートを中心にサポートサービスを提供
- コンタクトセンターサービス
テレマーケティング、リサーチ、インサイドセールス業務の代行
- マーケティングリサーチ
電話による各種調査、テレマーケティング



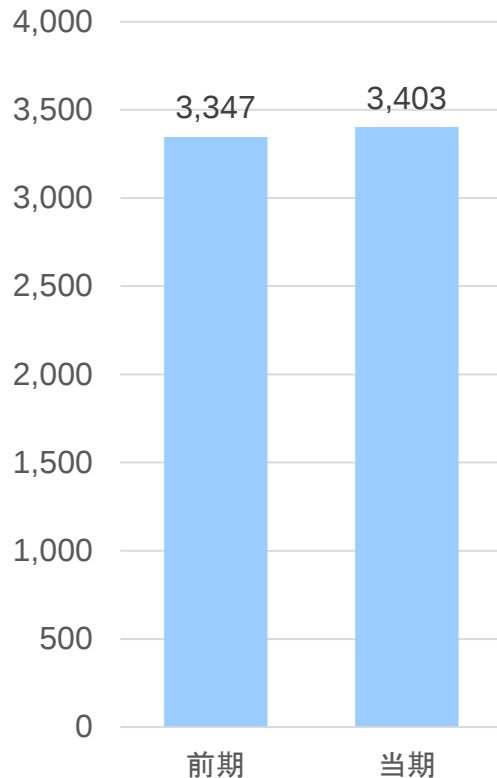
セグメント毎の概況

クリエイラボ事業

事業概況

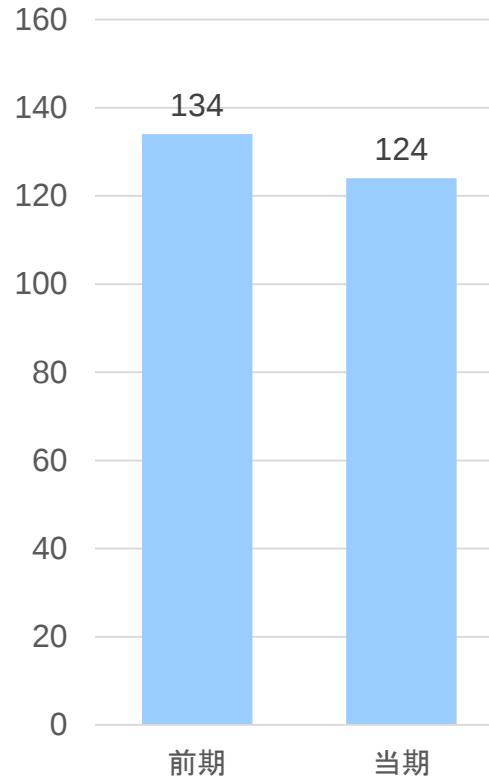
単位: 百万円

売上高



単位: 百万円

営業利益



【売上】

- 2016年1月にアダムスコミュニケーション社を連結子会社としたことによる増加。(4Qのみ)
- 既存顧客からのコストダウン要請等の影響により受注額が縮小し、前年同期比で56百万円の増加に留まる

【利益】

- 継続的な費用削減の取り組み等を行ったものの、売上高減少の影響により、前年同期比で11百万円の減少

【今後の事業展開】

- アダムスコミュニケーション社とのシナジーにより既存事業を伸長
- コールセンター事業の領域拡大のための業務提携、M&Aなどの実施を検討

第2部

2017年3月期 事業運営方針

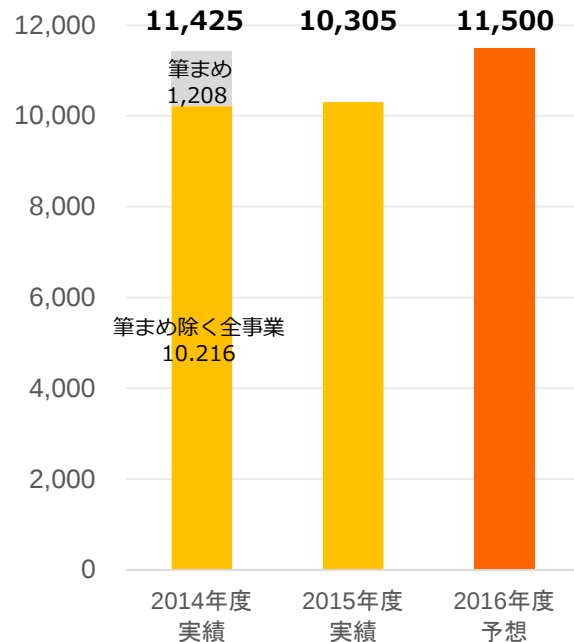
Business Strategies

以下の内容は、決算説明会にご参加いただいた皆様に、
当社の事業の状況、今後の方針についてご理解を深めて
いただくことを目的に、参考情報としてお伝えするものです。

2017年3月期 業績予想

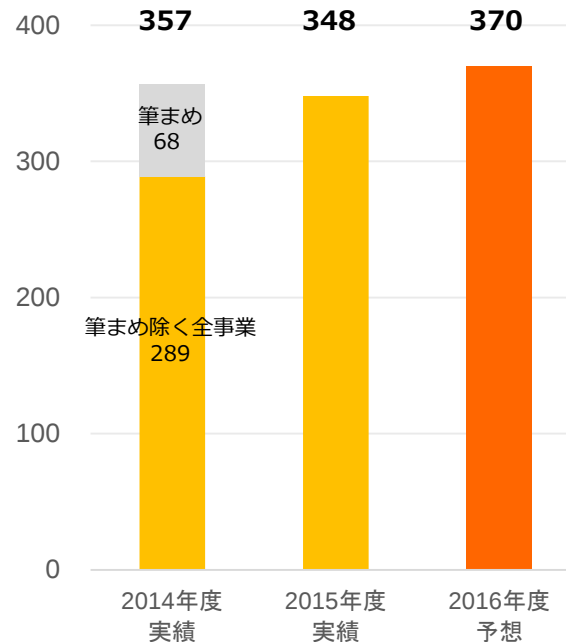
単位: 百万円

売上高



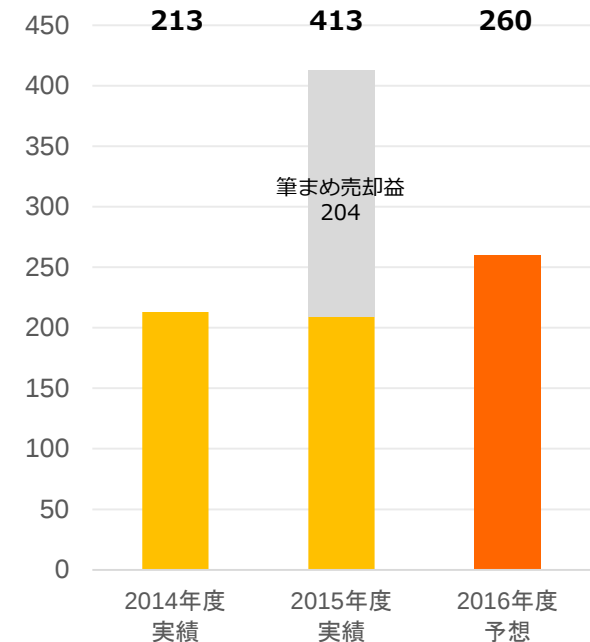
子会社化したイアス、アダムス
コミュニケーションの売上が寄与

営業利益



マイナンバー特需の反動減、
中長期を見据えた投資増により
20 百万円増に留まる

純利益

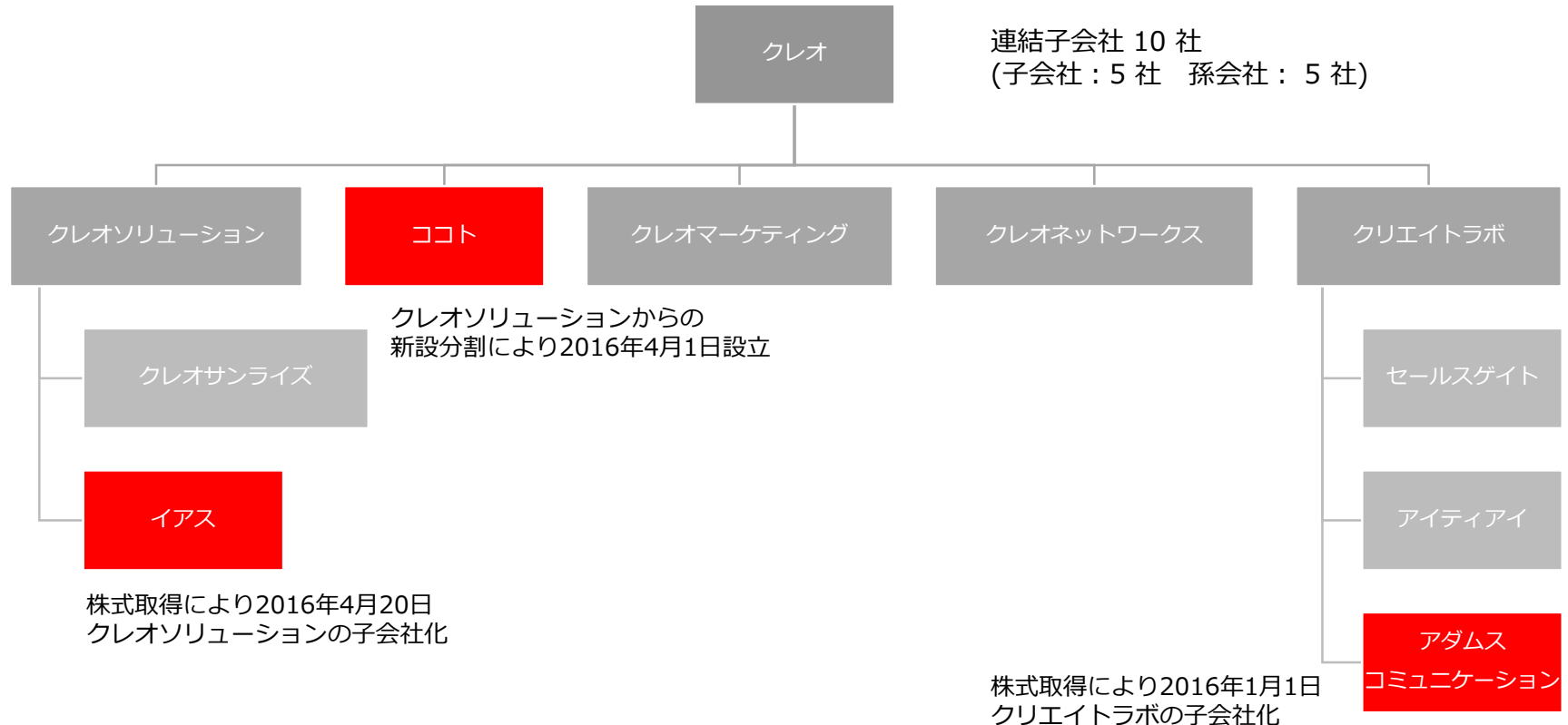


筆まめ売却による特別利益の
反動減

M&A による子会社増、各事業の収益性改善により
筆まめ事業売却による一時的減収減益を解消

M&A、子会社新設による事業の拡大

2016年5月現在のクレオグループ組織図



セグメント別売上高・営業利益 (2017年3月期 予想)

■ 売上高

単位：百万円

	クレオ ソリューション	ココト	クリエイトラボ	クレオ ネットワークス	クレオ マーケティング	クレオ+連結相殺	連結合計
2016年3月期実績	3,752	—	3,827	680	2,708	-663	10,305
2017年3月期予想	3,000	1,500	4,000	700	2,710	-410	11,500
増減額	-752	1,500	173	20	2	240	1,195
増減率	-20.0%	—	4.5%	2.9%	0.1%	—	11.6%

ココト分社による減少
イアス子会社化による増加

アダムスコミュニケーション
子会社化

➡ 売上高は全体的に保守的な予想

■ 営業利益

単位：百万円

	クレオ ソリューション	ココト	クリエイトラボ	クレオ ネットワークス	クレオ マーケティング	クレオ+連結相殺	連結合計
2016年3月期実績	226	—	124	50	45	-97	348
2017年3月期予想	169	113	110	62	55	-142	370
増減額	-57	113	-14	12	10	-45	22
増減率	-25.2%	—	-11.3%	24.0%	22.2%	—	6.9%

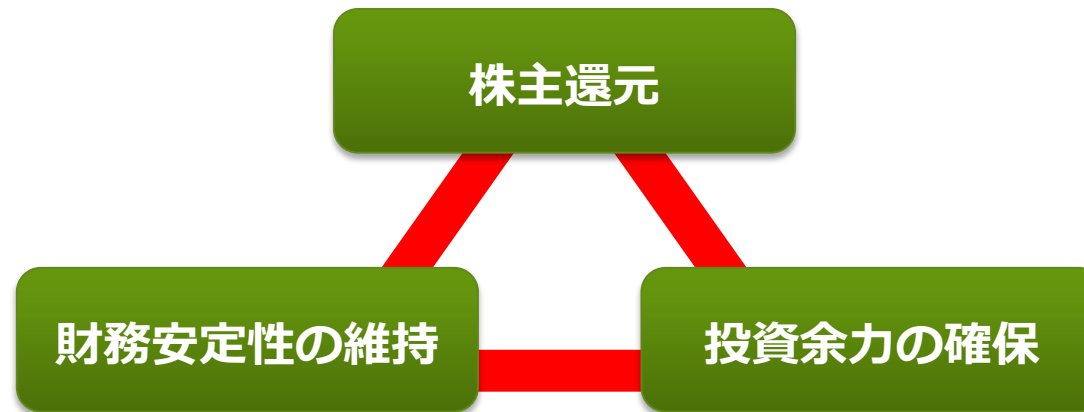
ココト分社による減少
イアスのれん代

アダムスコミュニケーション
のれん代

➡ 営業利益は、中長期を見据えた競争力強化のための投資を各社で実施するため、
小幅増益に留まる予想

株主還元

3つの視点のバランスを重視



今年度も M&A 実行の予定があるものの、業績の安定を考慮し、
3 月発表方針の通りの配当を計画

2017年3月期以降
連結配当性向 40% 目標



(2016年3月4日発表方針)

■ 2017年3月期 予想

当期純利益 260百万円

配当支払総額 103百万円

一株当たり年間配当金 12円

➡ 連結配当性向 40%

■ グループ事業・組織再編計画の検討

2017年4月からの新体制始動に向けて グループ事業・組織再編計画の検討を開始

当社グループ内のみならず、お客様、株主様との対話も通じて当社グループの企業価値向上に向けた最善の判断を行いたいと考え、2016年3月に再編検討開始を公表。

■ 再編検討の目的

- ・ グループとしての全体最適、シナジーの強化
- ・ お客様により価値の高い製品・サービス・ソリューションを提供するためのグループ内の事業ポートフォリオの見直し

■ 再編検討の範囲と内容

- ・ 持株会社体制の見直し
- ・ 現状の事業会社の枠組みを超えた、事業・人財の最適配置

■ 中期経営計画の発表について

2017年度～2019年度の 3 ヶ年の中期経営計画を
2016 年 12 月中旬を目途に発表予定

■ 中期経営計画の内容(予定)

- グループ事業・組織再編計画
- 新体制に基づく成長戦略
- 3ヶ年の業績目標
- 資本政策

—ご清聴ありがとうございました—



＜お問い合わせ＞ 株式会社クレオ 経営企画室 広報IR担当 安田： press-ir@creo.co.jp TEL03-6866-0330

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。